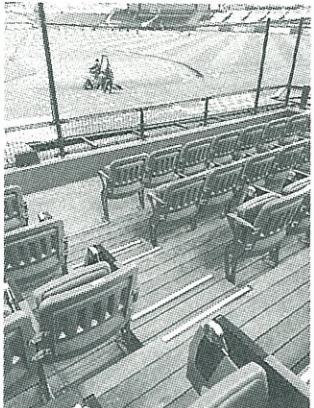


化學工業日報

2016年(平成28年)

3月30日 水曜日

第23294号（日刊、土・日・祝日除く）



このほど実績のある野球場で改修が行われ、2度目の施工を実施した

中和化学薬品（東京都中央区、今尾晋介社長）は防滑樹脂の販売を本格化する。特殊ウレタンなどに骨材を混ぜたもので、階段に塗布し滑り止めの機能を果たす。データタイプに比べ耐久性が高く、速乾性も兼ね備え

るため施工性にも優れる。このほど野球場で採用され、こうした実績をテコに他のスポーツ施設や各種製造工場への提案を強化する。2020年の東京五輪に向け需要が期待できるほか、同年までを整備目標とするバリ

中和化學品
藥

防滑樹脂を拡販

スポーツ施設や工場向け

◆工場向け

アフリーカー法に対応、視認性を高める段差識別商材としてもアピールする。防滑樹脂「マルチケリップ」は粘着製品などを手掛けるホリコー（神奈川県川崎市）が製造する。主に駅構内やショッピングセンターなど利用者の多い階段に施工されており、昨年には川崎市の「ものづくりブランド」にも認定された。

耐久性と施工性の高さが特徴。防滑用テープや塗料に比べて耐摩耗性、耐候性に優れるため、長期間にわたって使用でき、また速乾性を兼ねるため施工後から約1～3時間で乾燥硬化する。色は基本の6色に加え、オーダー色にも対応可能。用途に合わせて材質の異なる2種類をラインアップする。階段用途で線状に塗布するハードタイプは特殊ウレタン系樹脂、面状で広範囲に施工できるラージタイプはボリカーボネット樹脂を採用。それぞれ骨材に高純度アルミナを配合する。骨材は素足で利用するブームなど利用シーンに合わせて粒径を使い分ける。

中和化学薬品では野球場で採用実績があり、このほど同球場の改修に合わせて2度目の施工を実施。今後もスポーツ施設を中心に提案し、東京五輪で使用する競技場など

の需要を取り込む考
そのほか取引先の
カーワーク場でも実績
り、とくに食品工場
採用が進んでいる。
剤のマルチグリップ
臭で、におい移りし
メリットがあるため
20年を施工目標と

パリアフリー法にも対応できる。同法は人が集まる施設で円滑な移動を確保するため、段差の識別や滑りにくい床材への変更を推進する法律。視認性と防滑性を兼ねた商材として提案し需要を開拓していく。